



Science & Global vol.32

本校は、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受け、探究学習を中心とした生徒の「主体的・対話的で深い学び」を促す様々な教育活動を行っています。これまで、地域と関わりながら、多くの外部人材の協力を得て、先端科学あるいは国際的な社会課題に関する課題研究を中心に、多くの成果をあげてきました。

また、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、これまでとは異なる状況で課題研究が始まりました。しかし、生徒たちは未知の環境に適応し、オンラインソフトをはじめとする様々な技術を活用しながら課題研究に取り組んでいます。出雲高校では、これからも生徒の資質・能力（コンピテンシー）を伸ばす、意欲的な取組にチャレンジしていきます。

★2年生課題研究、校内外での発表★

○普通科・理数科ゼミ別中間発表

10月12日(月)・13日(火)・15日(木)に2年生普通科・理数科の「ゼミ別中間発表」を行いました。島根大学や島根県立大学、出雲市役所、JICA などから外部連携指導員の先生方をお招きし、課題研究の経過を発表しました。

外部連携指導員の先生方からは「研究テーマが大きいのもう少し焦点化する必要がある。」「まず疑ってみることは大事だ。」など研究の進め方、課題を追究することの重要性について有益なご指導・ご助言をいただきました。また、発表後に外部連携指導員の方に積極的に指導を仰ぐ班もありました。



○鳥取西高等学校課題研究成果発表会

11月6日(金)に鳥取県立鳥取西高等学校で課題研究成果発表会が開催され、本校の2年生11名が6月から取り組んでいる課題研究の现阶段の内容についてステージ発表を行いました。貴重な機会を提供いただきました鳥取西高等学校の皆さまに感謝申し上げます。

【各班の研究テーマ】

多文化共生システムゼミ 7組 A班	言語資料から古代の出雲の社会を浮かび上がらせる
生活科学ゼミ 2組 D班	出雲市内に住むブラジル人により親しむには？ ～ブラジル料理を日本人好みにアレンジすることはできないか？～



○しまね大交流会 2020

11月7日(土)、『しまね大交流会 2020』に2年生課題研究班3グループが参加しました。発表を聴講していただいた方々からはいろいろな視点からご指摘やご助言をいただき、研究を客観的に捉え直すことができました。

【各班の研究テーマ】

理数科 生物2班	抗酸化物質による還元
生命・食農ゼミ 4組 A班	身近な植物を使って酵母菌を培養できるか？
地域共生システムゼミ 8組 A班	自虐を用いたPRの有効性 ～誰だ、島根県どこって言ったやつ～



★2年生「SSmini パワーアップセミナー」★

11月9日(月)・10日(火)に、2年生を対象にレポート作成のための「SSmini パワーアップセミナー」を実施しました。

昨年度に引き続き、講師に島根大学教職大学院教育学研究科の中村怜詞准教授をお招きし、課題研究で研究レポートを作成するにあたっての流れや注意事項に関する講義および演習を行いました。

現代社会の動向や生徒たちの日常生活と関連づけて説明していただき、生徒たちは研究レポートを作成する意義について理解を深めることができました。



★3年生課題研究、校内外での発表★

○キッズのためのスーパーサイエンス

キッズのためのスーパーサイエンスは、地域の小・中学生に、課題研究の成果をわかりやすく発表するというものです。例年は出雲科学館の協力を得ながら実施していましたが、感染症対策のため、今年度は校内で動画を作成し、8月7日（金）のオープンスクールで動画発表をしました。ポスターやPowerPointなどを用いて、これまで研究してきた内容を中学生向けにわかりやすい動画を作成しようとする生徒の姿がみられました。

○地域創生に向けた高校生の提案

7月31日（金）に、3年生文系の生徒が出雲市職員の皆さまに発表をしました。2年次の課題研究で行ってきた探究活動の成果を、「地域創生に向けた提言」としてまとめ、4つのカテゴリー（政治・経済関係、観光・地域活性化関係、資源・環境関係、育児・教育関係）に分かれ、出雲市職員の方と意見交換をしました。地域社会の諸課題に向き合い、提案という形で自ら行動した経験は、生徒にとって有用なものになったと考えています。

○島根大学におけるグローバルセッション

例年、島根大学の松江キャンパスを訪問して発表を行っていましたが、今年度は感染症対策のため、オンライン会議による発表を実施しました。生徒は島根大学の3名の先生方に対し、2年次の課題研究で行ってきた探究活動の成果を英語で発表しました。先生方の英語での質疑にも何とか答えようとする姿勢が見られました。



★1年生PDGzセミナー★

11月12日（木）、外部から下記の先生方をお招きし、1年生を対象にPDGzセミナーを実施しました。様々な専門分野につながる講演や活動を通じ、それぞれが職業観について考えを深め、社会課題に対する関心を高めることができました。

(1)全体講演 泉雄二郎先生（島根大学 教育・学生支援機構 大学教育センター）「学びのタネの見つけ方」

(2)分科会 【国語科教育】百留康晴先生（島根大学教育学部）

【地球科学・有機地球化学】三瓶良和先生（島根大学総合理工学部）

【日本語学】野間純平先生（島根大学法文学部）

【病態生化学分野】浦野健先生（島根大学医学部）

【体育教育学】梶谷朱美先生（島根県立大学短期大学部）

【老年看護学】松本玄智江先生（島根県立大学看護栄養学部）

【国際協力の現状】岩田和美先生・舛本才智先生・小川真奈先生（JICA 中国）

【法律関係の仕事】大國暢子先生・加藤智崇先生・野島和朋先生（島根県弁護士会）

【ものづくりの仕事】余淑芬先生・鎌田浩也先生（トヨタ自動車株式会社）

【公務員の仕事】新垣南先生・神垣亮先生（出雲税務署）、和田高明先生（広島国税局）



★1年生理数科「リモート島根大学研修」★

11月6日（金）に1年生理数科の生徒を対象に、島根大学医学部とのフィールド学習を行いました。オンラインで島根大学の中村守彦教授に講義をしていただいた後、開発された医療機器やシステムの実体験を本校で行いました。

今回生徒が体験させていただいた機器やシステムの開発には、中村教授と島根県内の企業や出雲市の方々に関わっておられ、医療現場や患者さんからの「こんな機器やシステムがほしい」「日常生活・医療現場での不便さを解消してほしい」という声に応えようと、試行錯誤や失敗を重ねながら続けられた中村教授と協力企業の方々の努力に、生徒たちは大きな刺激を受けていたようでした。

